事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア立川南口教室 保育所等訪問支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年9月25日(金)
自己評価総括の担当者	飯沼実咲、高橋慧子、井上華寧、間宮結貴

	実施期間	回答者数	対象者数
保護者評価	2026年7月1日(水) ～ 2026年8月10日(月)	25	34
従業員評価	2026年7月23日(木) ～ 2026年8月10日(月)	4	15
訪問先施設評価	2026年6月17日(水) ～ 2026年7月30日(木)	15	28

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること
・お子さま一人ひとりの特性やニーズに寄り添った専門性の高い個別支援計画の策定・実践ができている ・訪問先施設（保育所・学校等）に対しても客観的かつ具体的で実践しやすい助言や丁寧な訪問記録を提供することができている ・保護者・訪問先・事業所の三者連携を円滑に進め、お子さまが所属先で安心して過ごせる環境づくりに貢献している	・「訪問支援計画に訪問先施設や担任の意向が盛り込まれているか」に対して「わからない」「いいえ」等の回答が半数を超えており、園・学校との連携プロセスや反映状況が保護者に十分伝わりきっていない点がある ・家族支援加算や自己評価結果などの情報がわからない方がいらっしゃる ・体制面では、訪問支援に求められる専門性やノウハウが個々の担当者に依存しやすく、育成プログラムや複数名で案件を担当・代行できるチーム体制の標準化が途上である

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等	事業所として考えている課題の要因等
・職員間での情報共有ができるよう、会議録等で記載をしている ・通所支援との連携を図っている ・訪問支援に適任な人材配置ができるように研修等を行っている ・訪問先の予定や状況の把握等、円滑な連携ができるように努めている	・訪問先の先生方との定期的な面談の機会を取ることが不足している可能性がある。また、園・学校側の意向をどのように支援計画や目標設定に落とし込んだかの説明が不足していた可能性があった ・自己評価結果の公表のご案内を教室掲示にとどめている等、保育所等訪問支援のみを利用されている方が、家族支援加算のご案内や自己評価結果の通知にアクセスしづらい状況となっている ・人員体制上、固定人員にする必要があった

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
今後は、保護者・訪問先施設との綿密な連携を継続するとともに、訪問支援員の育成・スーパーバイズ体制をより強化する。 訪問先施設への事前ヒアリングや支援計画への意向反映をさらに深め、園・学校での困りごとの軽減やより具体的な環境調整に向けたアプローチを強化していく。	・訪問先の先生方と定期的な面談（6カ月に1回程度）を設けていただくように依頼する。（※目的が明確に伝わるよう、資料作成等の工夫をする）また、個別支援計画提示の際に、訪問先の意向を伝える時間を改めて設ける。 ・保育所等訪問支援のみを利用されている方に、郵送物やLINEなどで、家族支援加算のご案内や自己評価結果の通知を行う。 ・今後、より多くの職員が保育所等訪問支援に携わることができるよう、全事業所合同で保育所等訪問支援について学びを深める事例発表の機会に参加した。また、9月より個別に保育所等訪問支援についての研修を開始している。